

NEWS RELEASE

Angiotensin I Converting Enzyme inhibitory peptides
derived from katsuobushi
(かつお節由来 ACE 阻害ペプチド)

ヤマキ株式会社(本社:愛媛県伊予市 代表取締役社長:城戸善浩)は、2022年10月15日(土)に開催された2022年10月12-16日、第29回国際高血圧学会(会場 京都国際会議場)において、下記の通り研究発表をいたしました。

記

■研究発表概要

演題名: Angiotensin I Converting Enzyme inhibitory peptides derived from katsuobushi
(かつお節由来 ACE 阻害ペプチド)

学会会場: 第29回国際高血圧学会(京都国際会議場)

発表者: 関英治(ヤマキ株式会社 商品開発部 かつお節・だし研究所)

発表日: 2022年10月15日(土)

■研究内容の要約

【目的】かつお節熱水抽出残渣を各種食品プロテアーゼを用いて酵素分解し、分解液を疎水性樹脂にチャージ後、10%エタノール液で脱着し、アンジオテンシン変換酵素(ACE)阻害力価の強いかつお節ペプチド KBP を得た。KBP を用い *in vitro*、*in vivo* 試験により ACE 阻害活性の作用機序を検証した。

【方法】ACE 阻害活性の作用機序の検証は KBP の腸管吸収動態をラット反転腸管試験で試みた。事前にラットを用いた KBP の単回投与試験にて用量は 1.0mg /kg から個体(333g)相当の KBP0.3mg/30mL とし、反転腸管透過前後の成分を質量分析に供した。

【結果】KBP 及び単離した配列を有するペプチドの 3~5% 量が反転腸管を透過しており、機能性成分としては高い吸収率を示し体内への吸収動態が明らかとなった。